



Silk Central 17.0

リリースノート

Micro Focus
The Lawn
22-30 Old Bath Road
Newbury, Berkshire RG14 1QN
UK
<http://www.microfocus.com>

Copyright © Micro Focus 2004-2016. All rights reserved.

MICRO FOCUS, Micro Focus ロゴ及び Silk Central は Micro Focus IP Development Limited またはその米国、英国、その他の国に存在する子会社・関連会社の商標または登録商標です。

その他、記載の各名称は、各所有社の知的所有財産です。

2016-05-11

目次

Silk Central 17.0 リリース ノート	4
Silk Central 17.0 の新機能	5
インスタンスによるデータ セキュリティ、安定性、スケーラビリティの向上	5
ツリーでのキーボードと複数選択のサポートとドラッグ&ドロップによる割り当て	7
統合の強化	7
IBM Rational DOORS Next Generation との統合	7
Office インポートの強化	8
Atlassian JIRA 7 と JIRA Agile 7 のサポート	8
Atlassian JIRA Agile 要件の事前フィルタ	8
新しい Atlassian JIRA 課題タイプとカスタム プロパティ フィールド タイプのサポート	8
優先度と概要の同期	8
ユーザビリティ機能の強化	9
現在の実行のすべての更新との同期	9
XLSX レポート テンプレート	9
テスト サイクルと実行計画間の移動	9
テスト サイクルのすべてのテスト担当者への手動テストの割り当て	9
ダッシュボード設定を含んだユーザー アカウントの自動作成	9
依存関係ページでのリスト サイズの変更	9
カスタム要件プロパティのリンク表示	9
Web サービスの更新	9
実行サーバー キーワード管理用の新しい API	10
システム要件および前提条件	11
Micro Focus へのお問い合わせ	13
Micro Focus SupportLine が必要とする情報	13
テスト済みおよびサポートされているソフトウェア	14
サポートの終了	16
予定されているサポートの終了	17

Silk Central 17.0 リリースノート

バージョン 17.0

2016年5月

以下の注記には、ヘルプには記載されていない重要な情報が含まれている場合があります。注記にはすべて目を通してください。

インストール、デプロイメント、およびライセンス管理に関する情報については、『[Silk Central インストールヘルプ](#)』を参照してください。

さらに支援が必要な場合は、[カスタマーケア](#) にアクセスしてください。

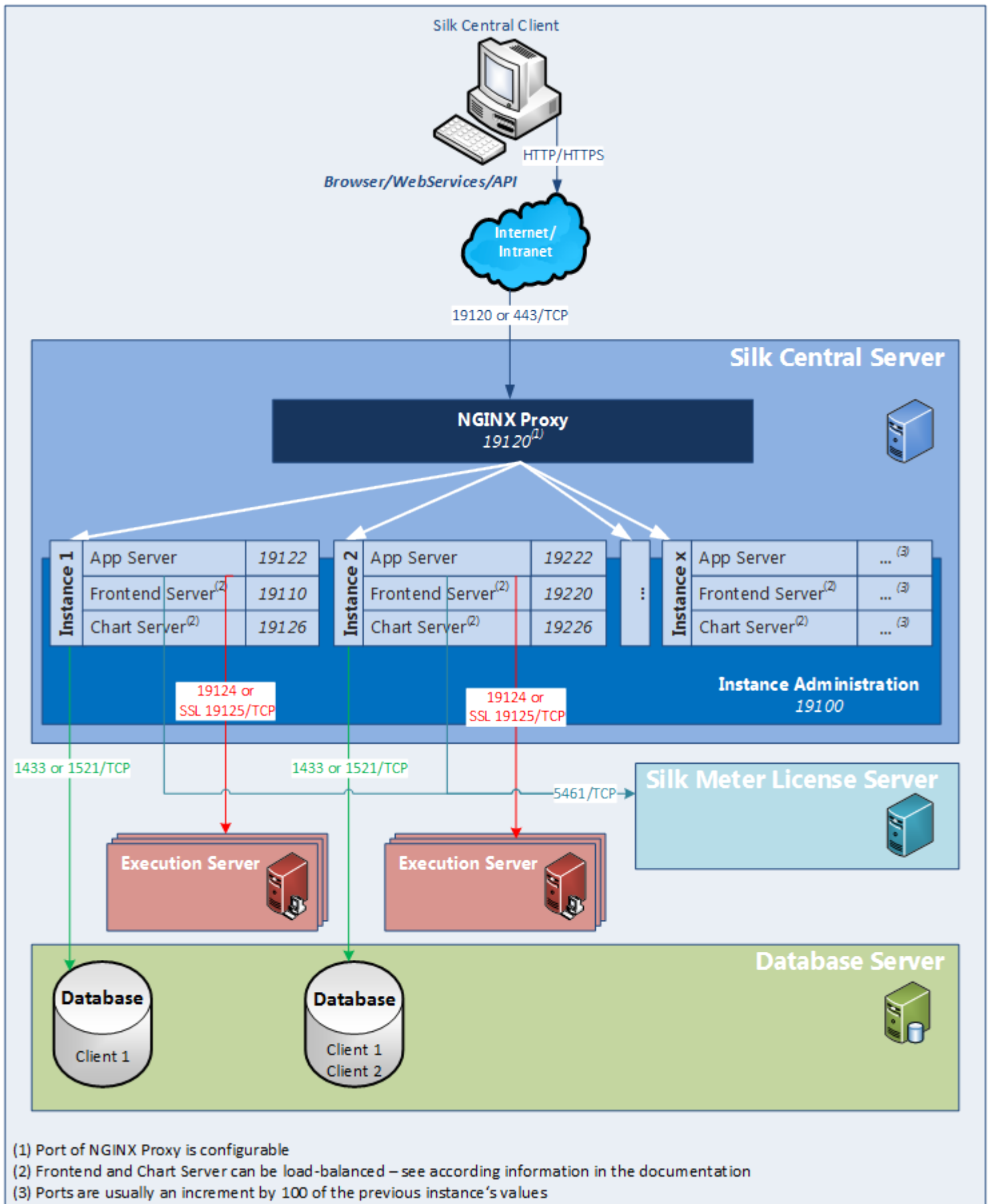
Silk Central 17.0 の新機能

Silk Central 17.0 では、大幅な機能拡張と変更が導入されました。

インスタンスによるデータ セキュリティ、安定性、スケーラビリティの向上

Silk Central 17.0 では、Silk Central インフラストラクチャを管理するための完全に新しい集中管理用ページが導入され、インスタンス機能が実現されました。

インスタンスは、独立した Silk Central サービス群（アプリケーション サーバー（AS）、フロントエンドサーバー（FE）、チャートサーバー（CS））で、それ自身のデータベースと実行サーバー（ES）との接続を持ちます。デフォルトでは、Silk Central は *silk* という名前のインスタンスを 1 つだけ作成します。デフォルトの URL は、<http://<コンピュータ名>:19120/login> (IIS 上で Silk Central を実行する場合はポート番号は不要です) です。データ セキュリティを高め、独立したユーザー グループ（事業部など）間での互いの影響を低減させるために、さまざまなクライアントの処理やテスト データ自身を物理的に分離する必要がある場合に、別のインスタンスを作成します。クライアント機能を使用すると、1 つのデータベース内の 1 つのインスタンスのデータを論理的に分離することができます。インスタンスと Silk Central サービスは、**インスタンス管理** という共通 UI を通じて管理されます。この UI には、Silk Central をインストールしたサーバー上からのみ、<http://localhost:19100> という URL を使用してアクセスできます。さらに、すべての Silk Central サービスを 64 ビット モードで実行できるようになりました。



ツリーでのキーボードと複数選択のサポートとドラッグ&ドロップによる割り当て

要件、テスト、実行計画ツリーで、キーボード操作と複数選択がサポートされるようになりました。

キーボードを使用した基本的な操作は、レポートとコードカバレッジツリーでもサポートされます。複数選択は、**要件**、**テスト**、**実行計画** ユニットの割り当てグリッドでもサポートされます。さらに、**要件**、**テスト**、**実行計画** ユニットの割り当てグリッドでは、ドラッグ&ドロップもサポートされるようになりました。

この新しい機能強化により、**実行計画** ツリーで、プロジェクトや、複数の実行計画、フォルダ、構成スイートを選択し、コンテキストメニューから手動でまとめて実行することができるようになりました。

これらの操作に続いて、切り取り、コピー、貼り付けなどを選択したノードに対して実行できます。

キー	アクション
Up	選択項目を上に移動
Down	選択項目を下に移動
Right	要素を展開
Left	要素を折りたたみ
F2	要素を編集
Ctrl+C	要素をコピー
Ctrl+X	要素を切り取り
Ctrl+V	要素を貼り付け
Del	要素を削除
Ctrl+Up	要素を上に移動
Ctrl+Down	要素を下に移動
クリック	要素を選択して、現在の要素として設定
Ctrl + クリック	クリックした要素の選択状況の切り替え、または他の要素をクリックして選択項目への追加/削除
Shift + クリック	現在の選択要素から新規選択要素までの範囲の選択
Shift+Up	上の要素を選択
Shift+Down	下の要素を選択
Enter	要素の割り当て (割り当てツリーでのみ)

統合の強化

このセクションは、Silk Central で行った統合の強化の一覧を提供します。

IBM Rational DOORS Next Generation との統合

Silk Central 17.0 は、IBM Rational DOORS Next Generation のサポートを簡単に実現でき、DOORS のインストールをカスタマイズする必要はありません。

Office インポートの強化

Microsoft Office から要件やテストをインポートする機能が強化されました。

Office インポート マッピング ファイルの編集用アクセス許可

Office インポート マッピング ファイルの編集用に新しいアクセス許可が追加されました。**プロジェクトマネージャ** および **テスト管理者** ロールのユーザーは、デフォルトでこのアクセス許可が設定されています。他のロールのユーザーは、マッピング ファイルの編集や作成ができなくなります。

インポートしたテストに要件を割り当てる機能

次の新しいプロパティがテスト マッピング ファイルに追加されました：**割り当て済み要件 ID**。要件をテストに割り当てる場合、これらの要件の ID をカンマ区切りのリストで指定します。この列は、Excel ではテキスト形式で指定します。それ以外の形式では、割り当ては機能しません。

Atlassian JIRA 7 と JIRA Agile 7 のサポート

Silk Central は、Atlassian JIRA 7 および JIRA Agile 7 をサポートするようになりました。

Atlassian JIRA Agile 要件の事前フィルタ


同期する要件の数を制限したい場合には、**カスタム JQL** フィールドを使用して、同期を実行する前に要件をフィルタすることができます。JIRA Agile システムで JIRA クエリ言語 (JQL) を使用してクエリを作成し、**カスタム JQL** フィールドにコピー & ペーストしてください。JQL の詳細については、Atlassian の『[Advanced Searching Documentation](#)』を参照してください。

新しい Atlassian JIRA 課題タイプとカスタムプロパティ フィールド タイプのサポート

Atlassian JIRA 問題追跡統合で、サブタスク課題タイプといくつかの新しいカスタム プロパティ フィールド タイプをサポートするようになりました。

Atlassian JIRA 問題追跡統合で、サブタスク課題タイプがサポートされるようになりました。**親課題 ID** を設定することにより、サブタスク課題を作成できます。さらに、いくつかの新しいカスタム プロパティ フィールド タイプがサポートされるようになりました：


- **Date Picker /Date Time Picker**

 **注:** これらのタイプは、テキスト フィールドとして表示され、JIRA の次のような形式で入力する必要があります。**Date Picker:** dd/MMM/yy (24/Mar/16 など)、**Date Time Picker:** dd/MMM/yy h:mm a (24/Mar/16 4:11 AM など)

- **Group Picker (single group) /Group Picker (multiple groups)**

- **Project Picker (single project)**

- **User Picker (single user) /User Picker (multiple users)**

 **注:** JIRA バージョン 5 以前では、デフォルトの **jira-users** グループにのみ属しているユーザーは表示されません。

- **Version Picker (single version) / Version Picker (multiple versions)**

優先度と概要の同期

Silk Central と問題追跡システム間で問題の情報の同期を取るとき、問題の優先度と概要も自動的に同期されるようになりました。

問題追跡システムが Team Foundation Server の場合：Silk Central 16.5 以前のバージョンからアップグレードした場合、TFS プロキシ サービスをデプロイしなおす必要があります。

ユーザビリティ機能の強化

このセクションでは、Silk Central 全体で行われたユーザビリティ機能の強化の一覧を提供します。

現在の実行のすべての更新との同期


現在の実行のすべての情報をクリック 1 回で同期できるようになりました。

実行計画でテストの割り当てを変更したり、**テスト** 領域でテストを更新した場合に、これらの変更を現在実行中のテストに反映させたい場合には、**現在の実行を同期** をクリックします。これにより、現在実行中のすべての割り当て済みテストが更新されます。**現在の実行を同期** ボタンは、**割り当て済みテスト** ページから **現在の実行** ページに移動しました。


XLSX レポート テンプレート

Silk Central のレポート テンプレートが、以前の Excel XLS ファイル形式だけでなく、新しい XLSX ファイル形式もサポートするようになりました。

テスト サイクルと実行計画間の移動

実行計画 ツリーのテスト サイクルから手動実行計画に移動して表示する操作、およびその逆の操作も、テスト サイクル名の隣にある  をクリックするだけで、簡単に行えるようになりました。

テスト サイクルのすべてのテスト担当者への手動テストの割り当て

手動実行計画 ユニットで、選択したテストを  アイコンにドラッグ&ドロップするだけで、テスト サイクルのすべての手動テスト担当者に、選択したテストを割り当てることができるようになりました。

ダッシュボード設定を含んだユーザー アカウントの自動作成

Silk Central が LDAP サーバーに対して新しいユーザーを確認し、自動的に Silk Central ユーザー アカウントを作成するときに、選択したテンプレート ユーザーのダッシュボード設定も新しいユーザーにコピーされるようになりました。

依存関係ページでのリスト サイズの変更

依存関係 ページの **マスタ実行計画** リストと **依存実行計画** リストの間にスプリッタが追加されたため、リストのサイズを変更できるようになりました。

カスタム要件プロパティのリンク表示

プロパティの値が URL の場合だけ、Silk Central は自動的にリンクとして表示し、Silk Central から他の Web アプリケーションに直接アクセスできるようになります。

Web サービスの更新

このセクションは、Silk Central Web サービスに行われた変更の一覧を提供します。

実行サーバー キーワード管理用の新しい API

2つの新しい Web サービス メソッドが実行サーバー キーワードの管理用に追加されました。

Web サービス `getExecServerKeywords` と `updateExecServerKeywords` は、`sccentities` (`MainEntities`) インスタンスにあります。

構文：

```
String[] getExecServerKeywords(long sessionId, int execServerId) throws  
InvalidIdException, InternalException;  
void updateExecServerKeywords(long sessionId, int execServerId, String[] keywords)  
throws InvalidIdException, InternalException;
```

システム要件および前提条件

Silk Central の最適なパフォーマンスのために、このセクションで概要を説明する構成をお勧めします。自作機 (ベアボーンキット、ショップ ブランド機を含む) は動作保証外です。

サーバー システムの要件

システム領域	要件
CPU	Intel Core i5、またはより高性能な CPU
メモリ	最低 6 GB
空きディスク容量	最低 30 GB、データベース サーバーを除く
ネットワーク	100 Mbit
オペレーティング システム、 データベース管理システム、 Web サーバー	テスト済みおよびサポートされているソフトウェア を参照してください。
電源供給	停電時のリスクを減少するため、すべての環境に対する無停電電源装置 (UPS)

追加するインスタンスごとに、最低 10 GB の追加のディスク容量と、次の最低メモリが必要になります。

- フロントエンド サーバー : 500 MB
- アプリケーション サーバー : 300 MB
- チャート サーバー : 200 MB

作業内容に応じて、これらの値はより高くなる可能性があります。

Silk Central の最適な構成の詳細については、テクニカル サポートまたはテクニカル アカウント チームに問い合わせてください。

実行サーバーの要件

実行サーバーに対する実際の要件と前提条件は、テスト対象アプリケーション (AUT) やテストのタイプに依存します。

負荷テストについては、Silk Performer の環境要件を参照してください。最小限の構成での負荷テストは、不正確な結果につながります。

機能テストについては、Silk Test の環境要件を参照してください。Web ブラウザのリプレイなど、集中的なテストについては、最小 2048 MB のメイン メモリが推奨されます。

Linux 実行サーバーは、Java Runtime Environment (JRE) 8 が必要です。

プロキシ サーバーの要件

Silk Central で Microsoft IIS を使用する場合は、Silk Central をインストールする前に、次の IIS 拡張機能をインストールする必要があります。

- Application Request Routing (ARR)
- URL Rewrite

[IIS Downloads](#) ページから、これらの拡張機能の最新版をダウンロードできます。

仮想化

Silk Central は仮想インフラストラクチャ環境 (VMware vSphere サーバー) での実行がテストされています。

クライアント側のシステム要件

システム領域	要件
プロセッサ	Intel Core i3、またはより高性能な CPU
メモリ	2 GB
Web ブラウザ	<ul style="list-style-type: none">• Google Chrome• Internet Explorer 10 以降 (互換モード以外)• Mozilla Firefox• Microsoft Edge

手動テスト UI は、Java Runtime Environment (JRE) 7 Update 51 以降 が必要です。

Micro Focus へのお問い合わせ

Micro Focus は、世界的規模のテクニカル サポートおよびコンサルティング サービスを提供します。すべての顧客のビジネスを成功に導くために、信頼できるサービスをタイムリーに提供するように、Micro Focus はワールドワイドのサポート体制を整えています。

保守およびサポート契約を結んだすべてのお客様、および製品を評価中のお客様は、カスタマー サポートを受けることができます。高度なトレーニングを積んだスタッフが、お客様の質問にできる限り迅速かつ専門的にお答えします。

<http://supportline.microfocus.com/assistedservices.asp> にアクセスするか、またはメールを supportline@microfocus.com に送信して、Micro Focus SupportLine と直接連絡できます。

また、<http://supportline.microfocus.com> の Micro Focus SupportLine では、最新のサポートに関するニュースや、さまざまなサポート情報を得ることができます。このサイトに初めてアクセスした場合は、ユーザー登録が必要な場合があります。

Micro Focus SupportLine が必要とする情報

Micro Focus SupportLine をご利用の場合は、可能な限り次の情報を提供ください。情報が多ければ多いほど、Micro Focus SupportLine はお客様に適切なサービスを提供できます。

- 問題の原因と思われるすべての製品の名前およびバージョン番号
- 使用しているコンピュータの製造元およびモデル
- システム情報 (オペレーティング システムの名前やバージョン、プロセッサやメモリの詳細など)
- 問題の詳細な説明 (問題の再現手順など)
- 発生したエラー メッセージ
- お客様のシリアル番号

これらの番号は、Micro Focus から受け取った Electronic Product Delivery Notice 電子メールの件名および本文に記述されています。

テスト済みおよびサポートされているソフトウェア

このセクションでは、Silk Central17.0 がテストされたソフトウェア、および Silk Central がサポートするソフトウェアの一覧を示します。

サポートするオペレーティング システム

- Microsoft Windows Server 2008 R2 サービス パック 1 64 ビット
- Microsoft Windows Server 2012
- Microsoft Windows Server 2012 R2
- Microsoft Windows 7 32 ビット/64 ビット サービス パック 1 (実行サーバー)
- Microsoft Windows 8 32 ビット/64 ビット (実行サーバー)
- Microsoft Windows 8.1 32 ビット/64 ビット (実行サーバー)
- Microsoft Windows 10 (実行サーバー)

サポートする Linux オペレーティング システム

Silk Central は、Linux オペレーティング システムを実行サーバーに限りサポートします。

- Debian
- Redhat Enterprise Linux
- Suse Linux
- Ubuntu

サポートする Web ブラウザ

- Google Chrome
- Internet Explorer 10 以降 (互換モード以外)
- Mozilla Firefox
- Microsoft Edge

サポートする Web サーバー

- IIS 7 32 ビット/64 ビット
- IIS 8 32 ビット/64 ビット

サポートするデータベース管理システム

- Microsoft SQL Server 2008 R2 サービス パック 3
- Microsoft SQL Server 2012 サービス パック 2
- Microsoft SQL Server 2014 サービス パック 1
- Oracle 11g (バージョン 11.2.0.4)
- Oracle 12c (バージョン 12.1.0.2)

サポートする統合された Micro Focus ソフトウェア

- AccuRev 6.2
- Caliber 11.3、11.4
- Silk Performer 16.5、17.0

- Silk Test 16.5、17.0
- StarTeam 14.3、14.4、15.0、15.1
- Silk TestPartner 6.3

サポートする統合されたサードパーティ ソフトウェア

- Apache Commons Virtual File System (VFS)
- Atlassian JIRA 5、6、7
- Atlassian JIRA Agile 6、7
- Bugzilla 4.4.11、5.0.2
- CA Agile Central
- Git 2.8.1
- IBM Rational ClearQuest 8.0
- IBM Rational DOORS 9.5、9.6
- IBM Rational DOORS Next Generation 6.0
- IBM Rational RequisitePro 7.1.3、7.1.4
- JUnit 4.11 以降
- Microsoft Office Excel (.xlsx) (テストと要件のインポート用)
- Microsoft Office Word (.doc、.docx) (要件のインポート用)
- Microsoft Visual Studio/Visual Studio Test Agent 2010、2012、2013、2015
- SAP Solution Manager 7.1
- Subversion 1.9
- Team Foundation Server 2010、2012、2013、2015
- VersionOne Enterprise Edition
- VMware vCloud Director 5.5

サポートの終了

このトピックでは、Silk Central 17.0 ではサポートされなくなる機能を示します。

Serena Version Manager (PVCS)

Serena Version Manager (PVCS) は、Silk Central 17.0 でサポートされません。

Compuware Quality Manager (Changepoint)

Compuware Quality Manager (Changepoint) は、Silk Central 17.0 でサポートされません。

Bugzilla 3

Bugzilla 3 は、Silk Central 17.0 でサポートされません。

予定されているサポートの終了

このセクションでは、将来のリリースではサポートされなくなる予定の Silk Central の機能を示します。

IBM Rational RequisitePro

将来のリリースでは、IBM Rational RequisitePro はサポートされなくなる予定です。

IBM Rational DOORS

将来のリリースでは、IBM Rational DOORS はサポートされなくなる予定です。その代わりに、Silk Central は IBM Rational DOORS Next Generation をサポートするようになりました。

VMware vCloud

将来のリリースでは、VMware vCloud はサポートされなくなる予定です。

データ駆動型オプション

将来のリリースでは、異なる入力データを用いたテストを実行する機能が簡略化されます。異なるデータの行は **テスト** 領域で表示されなくなり、結果領域のみで表示されるようになります。失敗した単一データ行を再実行することは可能です。

リンクされたテスト コンテナ

将来のリリースでは、リンクされたテスト コンテナは削除されます。Silk Central におけるこの機能の主な目的は、Silk Test Classic 計画ファイルのインポートをサポートすることでしたが、テスト パッケージ機能を使用することによって、実行するたびに Silk Central のテスト構造が更新されるためメンテナンス作業を軽減することができ、より良く Silk Test Classic 計画ファイル テスト タイプをサポートすることができます。

混在した実行計画

将来のリリースでは、自動実行計画で 1 つの実行計画に自動テストと手動テストを混在させることはサポートされなくなります。手動テストと自動テストのより洗練された組み合わせは、依存関係によって実現可能です。